

午後 試験

問 1

出題趣旨

昨今は、事業環境の変化が激しいことから、個別システム化構想を策定する際には、事業環境の将来動向を的確に把握し、変化に柔軟に対応できるシステムにすることが大切である。

本問は、IT ストラテジストが、個別システム化構想の策定において、事業環境の将来動向を的確に把握するために、どのようなことを検討し、どのように判断したかを問うとともに、事業環境の変化に柔軟に対応できるシステムにするために、どのような点を重要と考え工夫したかについて、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、IT ストラテジストに必要な分析力・企画力・洞察力・行動力などを評価する。

問 2

出題趣旨

情報システムの全面再構築ではなく、既存の情報システムの一部を改修したり、新たな機能を追加したりする情報システムの追加開発が実施される場合、追加開発に先立って業務を見直すことで、業務の効率や利用者の利便性などが向上することがある。

本問は、情報システムの追加開発に当たって、既存の情報システムの制約を考慮しつつ、追加開発に先立って、どのような観点で業務を見直し、どのように業務の効率や利用者の利便性などが向上したか、さらに、利用者や利用部門の理解・協力を得るために、どのようなことを重要と考え工夫したかについて、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、IT ストラテジストに必要な分析力・企画力・洞察力・行動力などを評価する。

問 3

出題趣旨

既存の組み込み製品に対して性能向上、機能追加によって、競争力を強化した製品を企画することがある。IT ストラテジストとして、このような製品企画を立案するためには、必要かつ十分な項目について調査し、検討することが重要である。

本問は、既存製品に対する性能向上や機能追加を題材として、このような製品企画を立案するに際して、どのような点について検討し、どのような内容の企画を立案したのかについて、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、IT ストラテジストに必要な分析力・企画力・行動力などを評価する。